

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 下呂特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年5月19日(火) 9:30~11:30
- 3 開催場所 下呂特別支援学校多目的室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

| | | |
|-------|--------|-----------------|
| 会 長 | 細江 節子 | 下呂市単位民生委員協議会 |
| 副会長 | 目次 丈太 | 佐橋工業株式会社 |
| 委 員 | 野村 則保 | 下呂市小川区長 |
| | 今井 広一 | 加子母むらづくり協議会 |
| | 長谷川 和正 | 株式会社ハウテック |
| | 井口 フキ子 | 益田山ゆり園(欠席) |
| | 川口 春美 | 下呂市障がい者生活相談センター |
| | 西垣内 弘子 | 下呂市子ども家庭課対策監 |
| | 進藤 互 | 下呂特別支援学校PTA会長 |
| 学 校 側 | 熊崎 礼子 | 校長 |
| | 原 るみ子 | 教頭 |
| | 上野 綾子 | 事務長 |
| | 石原 さゆり | 小中学部主事 |
| | 梅村 和由 | 高等部主事 |
| | 石黒 宏美 | 教務主任 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校経営計画及び組織編成について

学校 : 今年度の学校経営計画及び組織編成、各学部の方針と活動計画の説明

意見1 : 学部を越えた上級生と下級生の関わりや教え合いなど小規模校の強みを生かしてほしい。

意見2 : 社会に出たときに、学校生活とのギャップを感じる生徒もいると思うが、学校生活の中で学んだ挨拶や礼儀等がそれを乗り越えるための強みになる。

意見3 : 今年度は児童生徒数が増え、対応を見直す部分があると思うが、人数が多いことによる活気も見られた。新しく入った児童生徒にもこの学校の方針や伝統を伝えてほしい。湯ヶ峰太鼓の演奏にも期待している。

意見4 : 授業では、新入生が上級生の姿を見て、落ち着いて学習に取り組む姿が見られた。

(2) 教育課程の編成及び年間行事計画について

学校 : 各部の類型ごとの教育課程及び年間行事計画を資料にて説明

意見 1 : 一人一人の実態に応じた支援がなされ、生き生きと取り組む姿が見られよかった。
高等部の保健体育の授業参観では、他の生徒との競争ではなく、自分の記録との勝負をしていて、個に応じた内容でよい。

意見 2 : 防災について学習しているクラスもあり、実生活につながり大切なことなので、継続してほしい。

意見 3 : 卒業後、地域社会に向かっていくために、実生活につながる内容や生活経験を広げることが大切になる。学校との連携により安心できる地域支援を進めたい。

意見 4 : 自転車に関する法律の改正や歩きスマホの危険性等、交通ルールや交通安全に関する内容を授業で取り上げてほしい。

意見 5 : 中学部の作業学習は、自分に合った作業内容に取り組んでいた。

(3) 作業製品の価格設定について

学校 : 令和 8 年度各作業班製品一覧にて説明

意見 1 : 昨今の社会情勢からの物価高騰、材料の不足などはどのように考えているか。
⇒現時点は、今ある在庫で対応できる見通し。現在の価格で進めることができる。

意見 2 : 生徒数が増えたことで、作業製品の増産や質の向上を期待している。

意見 3 : 中学部の作業学習は、個に応じた内容や作業工程で製品作りに取り組んでおり、よかった。

(4) その他

意見 1 : これまで関わってきた子どもたちの元気な姿を見ることができよかった。これからは家族支援や家庭ケアに連携して取り組みたい。

意見 2 : 様々な地域の児童生徒が在籍しているため、他地域の民生委員に行事等を知らせ、この学校の理解につなげたい。

意見 3 : 教職員が心身ともに健康であることが、児童生徒の支援につながる。教職員の体調管理も大切にしてほしい。

6 会議のまとめ

- ・令和 8 年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営方針について、全委員より承認が得られた。
- ・令和 8 年度高等部作業製品の価格について、全委員より承認が得られた。

<今後の課題>

- ・小規模校の特性を生かした異年齢交流の充実と、挨拶・礼儀など基本的な生活習慣を確実に身につけさせる指導体制が今後必要である。上級生のよい学習態度を学校全体に広げる仕組みづくりができることよい。
- ・個々の実態に応じた支援を継続しつつ、防災学習や交通安全指導など実生活につながる教育内容を一層充実させることが課題である。
- ・高等部作業学習では、物価高騰や材料不足への対応を見据えた安定的な製品づくりの体制整備が課題である。